

理事長メッセージ

2009年、私は初めての出産と同時に病児の母となりました。

いくつかの病院で、子どもの入院に付き添う中、体験したり見聞したりしたことが、この活動の原点です。

子どもが元気になるために、とりわけ母親はチーム医療において重要な役割を担っているのに、付き添い中の食事や睡眠などへのサポートは十分ではありませんでした。

自分のことを後回しにするうちに、いつしか笑顔が消え、私を含め倒れてしまうお母さんたちが周りにたくさんいました。

病気の子どもを育てるママたちの笑顔を守りたい——。

そして、病気や障害があってもその家族らしく子育てを楽しみ、そうした親子を社会で支えられる世界を目指して活動してまいります。

温かいご支援をどうかよろしく願っています。



理事長 光原ゆき

ご支援のお願い

いろいろな支援の方法をご用意しています。あなたに合った方法でご支援くださいますようお願いいたします。詳しくは公式ウェブサイト「支援のかたち」をご覧ください。



詳しくはこちらから

マンスリー
サポーターは
月々1,000円～。



お申込みはこちらから

都度寄付は3,000円～。

都度寄付はクレジットカード決済、銀行振込、郵便振替でお受けいたします。クレジットカード決済をご希望の方は公式ウェブサイトをご覧ください。

●三井住友銀行

築地支店 普通口座 7623765

口座名義：特定非営利活動法人
キープ・ママ・スマイリング

よみがな：(トクヒ)キープママスマイリング

●郵便振替

口座番号：00180-2-551449

口座名義：特定非営利活動法人
キープ・ママ・スマイリング

※郵便局に備え付けの振替用紙にご記入のうえお振り込みください。

ふるさと納税 で応援

寄付金のうち2,000円を超える金額は所得税の還付・住民税の控除の対象となります。

買って応援

ClubTコロポ・チャリティショップでオリジナルグッズを購入すると1点につき1000円がこの活動に寄付されます。

売って応援

ブックオフ「キモチと。」プログラムで不要になった本やDVDを売却すると下取り金がこの活動に寄付されます。

ボランティア・スタッフ募集

付き添い生活応援パックの梱包やミールサポートの調理、お弁当のお届けなどの通常業務を手伝っていただけるボランティアやスタッフを随時募集しています！年齢・性別は問いません。単発サポートも大歓迎です。お問い合わせ・お申込みは公式ウェブサイトからお願いします。



NPO法人キープ・ママ・スマイリング

〒104-0061 東京都中央区銀座4-13-19 銀林ビル4F

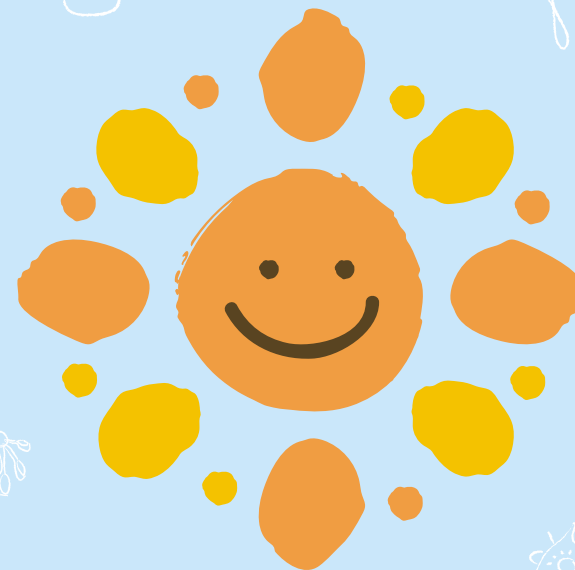
info@momsmile.jp

https://momsmile.jp

～ママ&パパ&家族が笑顔でいられるように～

Keep Moms Smiling!

キープ・ママ・スマイリング



病気の子どもを育てる
親御さんやご家族を
応援しています！

NPO法人
キープ・ママ・スマイリング



https://momsmile.jp

1

「ミール de スマイリング」で
おいしいごはんを届ける!

私たちが食を通じて伝えたいのは「あなたは決して一人じゃないよ」ということ。「おいしい食事でも心も元気になりました」という付き添いママたちの声を励みに食の活動を続けています。

ミールサポート／ミールプログラム
手作りの食事を届ける

2015年から東京都内の小児病棟やファミリーハウスで付き添い生活を続けるご家族に手作りの温かい夕食やお弁当を定期的に届けています。調理ボランティアとしてプロの料理人や料理好きのおとなだけでなく、中高生や大学生、そして付き添い経験のあるママなど多様な背景を持つ人たちがサポートしてくれています。



メニュー作成・調理指導でご協力くださる米澤文雄シェフを囲んで。



長期休暇を利用して中高生や大学生も調理ボランティアとして参加。



旅行気分を味わえるように、お弁当のラッピングもひと工夫。

お弁当 de スマイリング レストランの味を届ける

2020年に新型コロナウイルス感染症の流行が始まると調理ボランティアで調理した食事を提供できなくなりました。そこで、21年1月に「お弁当 de スマイリング」プロジェクトを立ち上げ、地域の飲食店と協働しながら小児病棟やファミリーハウスに定期的に温かい食事を届けています。東京・銀座から始まったこの取り組みは、東京・世田谷、佐賀へと広がっています。

提供したお弁当の一例です!

銀座「天ぶらやす田」
元祖天巻き弁当



佐賀「アquadevue-佐賀
スイートテラス」クリスマス
スペシャルランチBOX

ボランティアスタッフ
チームでお届けします!

2

「付き添い生活応援パック」で
生活必需品を届ける!

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、付き添い家族は小児病棟での行動を制限されるようになりました。また、コロナ禍による経済的困窮も追い打ちをかけ、付き添い生活はより厳しいものとなっています。そこで、2020年10月からお子さんの入院に2週間以上泊まり込んで付き添っているご家族を対象に、付き添い生活に必要な食料品、マスク・消毒薬などの衛生用品をはじめ、化粧品、ハンカチ・タオル、衣類などの生活用品を詰め合わせた「付き添い生活応援パック」を無償で配布しています。コロナ禍が明けても付き添い生活の厳しさはそれほど変わらないため、この活動は継続して行っています。



付き添い応援パックには、この活動に賛同していただいた多くの企業からの協賛品も入っています!



付き添い
応援パックの
お申込みは
こちらから

経済的に困っているひとり親には
「付き添い生活サポートプラス」で寄り添う

付き添いのため働けず経済的に困窮しているひとり親で、かつ身内や友人など周りのサポートを得られにくい付き添い家族を対象に、お子さんが退院するまで継続的に付き添い生活に必要な物資をお届けします。この活動は病院スタッフと緊密に連携しながら実施しています。

3

「キャンペーンや実態調査」で
付き添いの現状を知ってもらう!

母の日から父の日までの期間限定で「付き添い家族応援キャンペーン」を展開し、入院中の子どもに付き添う家族の実情を広く社会に知ってもらう啓発活動にも積極的に取り組んでいます。また、付き添い家族の実態を明らかにするために、さまざまな調査も実施しています。一人ひとりの体験者の声を集めることによって政策提言につなげ、付き添い家族の環境改善に貢献することを目指しています。



「付き添い家族応援 Smiling Family Days キャンペーン」(2022年)

聖路加国際大学共同調査
「入院中の子どもの家族の生活と支援に関する実態調査」



詳しくは
こちらから

Family Data

病気の子どもと付き添い家族の実態

長期入院の子どもたちが多い病気は小児がんと先天性心疾患です¹⁾。小児がんの診断を新たに受ける子どもは年間約2100人²⁾、先天性心疾患の診断を新たに受ける子どもは年間約1万2300人³⁾います。一方、私たちの共同調査¹⁾では、長期入院の子どもの家族のうち、泊まり込んで付き添っていた家族は全体の86.1%を占めました。また、入院期間にかかわらず付き添いの交代者がいなかった家族は28.8%、大部屋で泊まり込んだ経験のある家族は過半数(53.5%)を超えていました。

長期入院の付き添いによって

体調不良 睡眠不足 栄養不足
58.4%¹⁾ 94.8%¹⁾ 93.6%¹⁾

1) 聖路加国際大学共同調査「入院中の子どもの家族の生活と支援に関する実態調査」

2) 国立がん研究センターがん情報サービス がん統計「小児・AYA世代のがん罹患」

3) 日本小児循環器学会「小児期発症心疾患実態調査2019集計結果報告書」